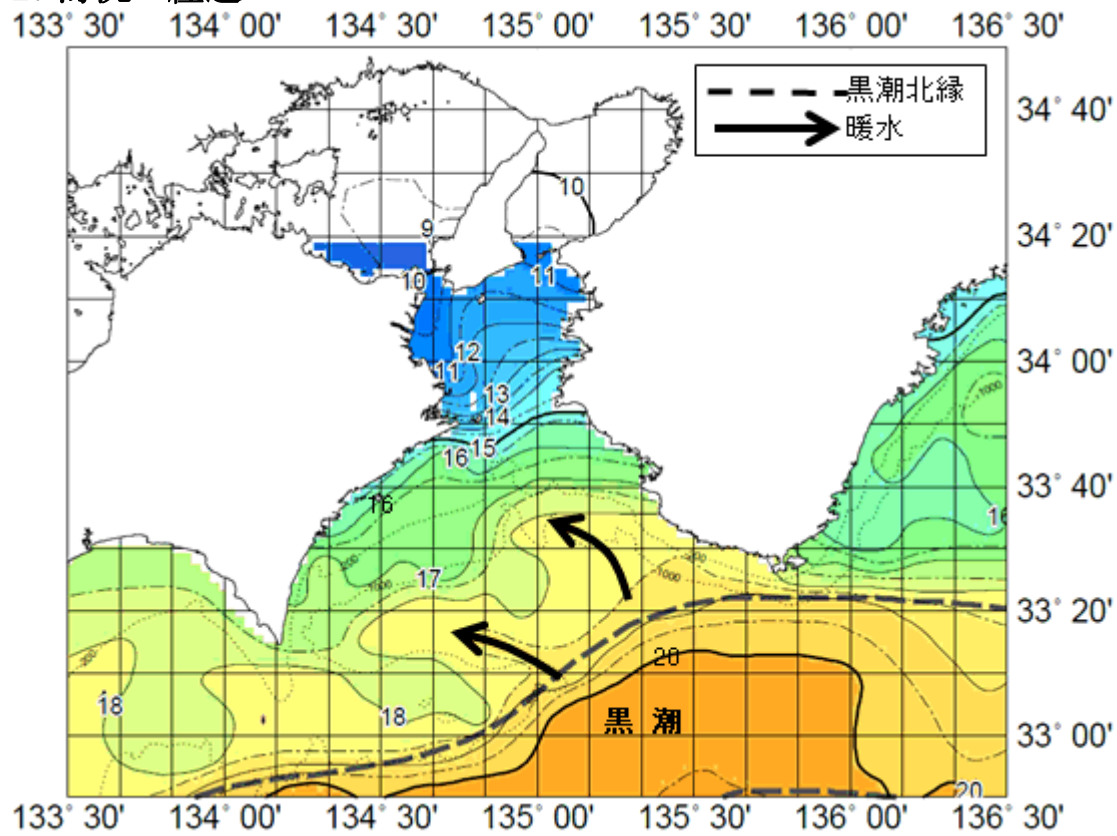


1. 海況の経過

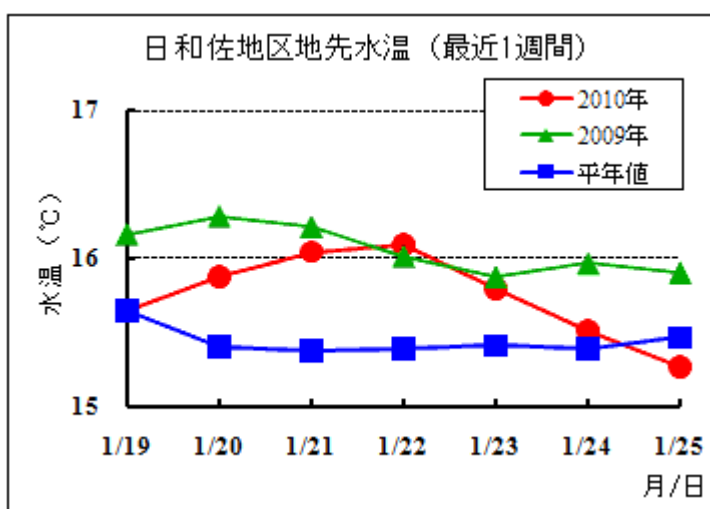
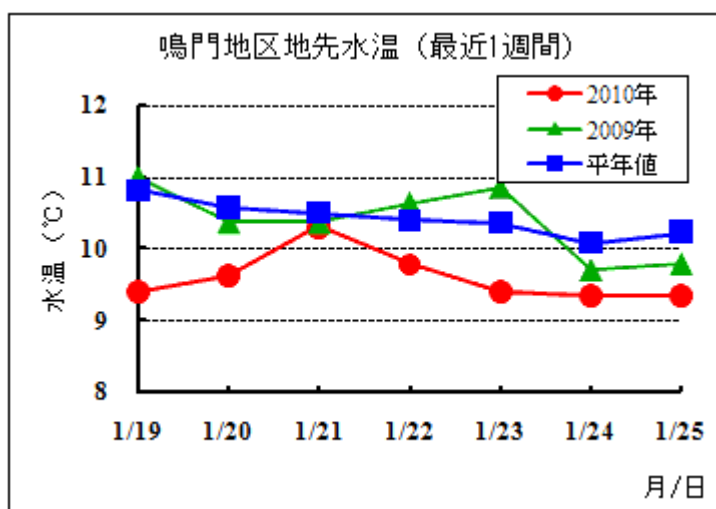


海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H22.1.25)を示した。
 黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。室戸岬以西の黒潮は、都井岬沖、足摺岬沖でやや離岸している。
 黒潮本流の表面水温は、18～21℃台である。
 徳島沿岸の表面水温は、播磨灘が9℃台、紀伊水道が10～14℃台、海部沿岸が13～17℃台である。
 黒潮の小蛇行が室戸岬沖を東進している。
 紀伊水道外域の黒潮系暖水は、潮岬沖から紀伊水道外域中央部と潮岬沖から室戸岬東方海域に向かって流れている。海部沿岸は下灘まで16℃台の内海系水に覆われている。

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「平年並み」の9.3～10.3℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の15.3～16.1℃、牟岐地区は「低め」～「高め」の13.8～16.7℃で推移した。



2. 漁況の経過

延縄:海部沿岸で、アマダイが0.4トン(1日1隻当たり10kg)、大・中主体にサバフグが0.6トン(同26kg)水揚げされた。

小型定置網:海部沿岸で、アオリイカが0.8トン(同50kg)、カタクチイワシが0.8トン(同44kg)、キビナゴが0.3トン(同18kg)、小主体にマアジが0.2トン(同9kg)、メジナが1.1トン(同56kg)水揚げされた。

大型定置網:海部沿岸で、大・中主体にアオリイカが0.3トン(同59kg)、大主体にカワハギが0.2トン(同42kg)、大・中主体にサワラが0.2トン(同49kg)、大主体にスルメイカが0.7トン(同134kg)、小主体にタチウオが0.7トン(同132kg)、小主体にヒラソウダが0.4トン(同77kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、大主体にアオリイカが0.8トン(同7kg)、大主体にゴマサバが1.3トン(同29kg)、特大・大主体にタチウオが1.3トン(同21kg)、マサバが0.3トン(同7kg)、メジロが1.1トン(同8kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 01月18日～01月24日 県下6漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出 漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり 漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アマダイ	41	412	10	
		サバフグ	25	647	26	大・中主体
小型定置網		アオリイカ	16	793	50	
		カタクチイワシ	18	798	44	
		キビナゴ	18	320	18	
		マアジ	24	204	9	小主体
		メジナ	20	1,122	56	
		大型定置網	アオリイカ	5	296	59
カワハギ			5	211	42	大主体
サワラ			5	244	49	大・中主体
スルメイカ			5	668	134	大主体
タチウオ			5	660	132	小主体
ヒラソウダ			5	384	77	小主体
釣り		アオリイカ	113	836	7	大主体
	ゴマサバ	44	1,281	29	大主体	
	タチウオ	60	1,274	21	特大・大主体	
	マサバ	42	309	7		
	メジロ	129	1,089	8		

週間予報:

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「やや低め」の8℃台後半～9℃台前半、日和佐地先は「平年並み」の15℃台前半で推移する見込み。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上